



第760号《改題25号》
 2026年4月1日発行
 発行人 (一社) 滋賀県労働者福祉協議会
 専務理事 山本 俊夫
 〒520-0806
 大津市打出浜2-1 コラボしが21 6階
 電話 077-524-6290
 F A X 077-523-4070
 URL <https://s-rofuku.com/>
 E-mail shiga629@aioros.ocn.ne.jp
 印刷所 ユメディア株式会社

滋賀県労福協 設立70周年！設立記念イベントを実施します！

滋賀県労福協は2026年度に設立70周年を迎えます。この節目を「過去と未来の結節点」ととらえ、これまでの歩みを振り返りながら、全国の労福協が掲げる「2030年にめざす社会像」を地域の皆さまとともに進めていくため、記念イベント『つながる！しが福祉フェスタ』を開催します。

開催日は2026年11月23日(月・祝)、会場は草津市立滋賀トヨタアリーナ(くさつシティアリーナ)です。お子さまからご年配の方まで楽しめる企画をご用意しています。ぜひご家族でお越しください。



2025年度福祉強化キャンペーン！「合同研修会」を開催しました

2025年12月9日(火)、2025年度福祉強化キャンペーン「地域に一步踏み出そう！」の一環として、クサツエストピアホテル2階「瑞祥の間」にて合同研修会を開催し、70名が参加しました。研修会ではまず、滋賀県労福協の理事を務める滋賀県生協連の森井徹専務理事より、「2025 国際協同組合理年 労福協に期待すること」と題した講演が行われました。森井氏からは、協同組合の歴史や特徴、アイデンティティについて解説され、労福協の活動基盤が「生活の場である地域」にあることを改めて確認したうえで、地域に根ざした組織として果たすべき役割について考えてほしいと呼びかけられました。



続いて、社会福祉法人わたむきの里福祉会の野々村光子理事(働き・暮らし応援センター Tekito 相談統括)による「10年後の彼と地域を見つめた就労支援～未来への下ごしらえ～」と題した基調講演が行われました。野々村氏は、支援現場での経験をもとに、働くことが生きる力につながっていく過程や、支援の中で大切にしている視点について、具体的なエピソードを交えて語られました。



講演後には、「あなたにとって「働く」とは何か？」をテーマに、参加者が9つのグループに分かれてディスカッションを行いました。「モチベーション」を軸に議論したグループや、立場や役割の違いを意識しながら活動することで生まれる価値について共有したグループなど、多様な意見が発表されました。発表を受けて野々村氏からは、組織人としてできることと個人としてできることを分けて考えることで、責任から一度離れ、自分自身の可能性を語り合う余白(のりしろ)が生まれると助言がありました。また森井氏からは、「誰のために、何のために」という目的の方向性を共有することの大切さや、違いがあるのは当たり前であり、違いを認め合うことで一歩前に進めるというメッセージが寄せられました。

会場からは、野々村氏の著書『しんどいからおもろいねん』のタイトルの意味について質問がありました。野々村氏は、しんどさを共感できたときにこそ、その人の優しさやすごさに気づけること、そして「しんどい先」ではなく「しんどい中」にこそ「おもろい」と思える瞬間があると語り、人生に深く関わる支援の本質に触れる言葉が印象を残しました。今回の研修を通じて、「福祉はひとつ」の精神のもと、労福協が担ってきた“つなぐ”役割を、地域の中で“つながる”運動へと広げていく重要性を参加者全員で再確認しました。主体性をもった地域の自主福祉運動を、これからもともに進めてまいります。



TOPIC 1 (一社) 滋賀県労働者福祉協議会

2025年度福祉強化キャンペーン！
県内一斉「フードドライブ」を実施しました♪

「全国福祉強化キャンペーン」は、毎年全国47都道府県の労福協が一斉に取り組む「福祉強化」を目指すキャンペーンです。毎年10～11月を取り組み強化期間として活動を展開しています。

福祉（しあわせ）の向上をめざして取り組む2025年度の全国共通テーマは、「地域に一步踏み出そう！」です。さまざまな取り組みの中から、滋賀県労福協が設定したメニューは、次のとおりです。

1. メインメニュー

- ・他団体・事業団体との連携
- ・自治体要請行動（政策制度要求と提言）
- ・フードドライブの実施

2. チャレンジメニュー

- ・該当行動・啓発活動の取り組み
- ・認知度向上・情報発信、広報活動強化に向けた取り組み
- ・合同研修会の実施

2022年度から開始した「フードドライブ事業」は、4年目を迎える継続事業となりました。県内9つの地区労福協と、くらしサポートセンターしが（大津・彦根・守山・近江八幡）が地域ごとに連携し、それぞれの地域の皆さまの声を受け止めながら、協力体制が整ってきたように感じています。多方面から寄せられた食品は、市町の社会福祉協議会や市役所、フードバンク等を通じて、地域で支援を必要とされる方々へお届けいたしました。

地域に一步踏み出すことで、地域で暮らす皆さまの笑顔に触れることができます。「福祉はひとつ」。今後も多様な団体と連携を深め、福祉（しあわせ）の向上をめざし取り組んでまいります。



TOPIC 2 2025年度 第3回生活応援セミナーを実施しました！
最終回！テーマは、「不安を解消！保障制度について学ぼう～意外と知らない『社会保障』豆知識のマスターを！～」

2026年2月10日（火）、2025年度第3回目となる「生活応援セミナー」を開催いたしました。

2025年度の生活応援セミナーは「人生100年時代 健康で幸せに過ごすために」を年間テーマとし、全3回の講座を実施いたしました。第1回目では「健康を維持するためのポイントを知る」、第2回目では「食事で健康的な身体づくり～今日からすぐに始められる！～」をテーマに、日々の生活に役立つ知識を学んでいただきました。そして最終回となる第3回目は、「不安を解消！保障制度について学ぼう～意外と知らない『社会保障』豆知識のマスターを！～」と題し、こくみん共済coop 滋賀推進本部の宮野育子氏にご講演いただきました。



医療保障や介護保険制度、老齢年金をはじめとした公的保障制度のポイントについて理解を深め、ご自身やご家族に必要な備えを考える機会として実施いたしました。中でも、講師のご経験を踏まえた先進医療に関するお話には、多くの参加者が興味深く耳を傾けておられました。皆さまから多くの質問も寄せられ、保障制度への関心の高さを改めて感じる時間となりました。

制度や情報を知っていることで、多くの選択肢の中から自分に合った手段を選ぶことができ、いざという時にも落ち着いて判断し、適切な備えにつなげることができます。参加者の皆さまにとっても、新たな気づきや学びとなる内容が多かったようです。

今後も、皆さまの生活に寄り添う学びの場を提供してまいります。2025年度のセミナーにご参加いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

TOPIC 3 滋賀大学附属小学校 環境学習に参画しました！

2026年3月2日（月）、大津市にある滋賀大学附属小学校で行われた環境学習にオンラインで参加しました。附属小学校では、5年生を中心に「地球のためにできること」をテーマに探究学習を進めておられ、その中で労福協の『びわ湖クリーンキャンペーン』に関心を寄せさせていただいたことが今回の授業につながりました。事前に担当の先生と打ち合わせを重ね、オンラインでの対話を実現しました。

当日は、滋賀県労福協と大津地区労福協、くらしサポートセンターしが大津の担当者が参加し、約30名の児童と画面越しに交流しました。「なぜ活動に参加しているのか」「琵琶湖の環境はどう変わってきたのか」「ヨシ刈りをすると、琵琶湖の環境にどんな影響があるのか」など、児童からは次々と質問が寄せられ、熱心に学ぶ姿が印象的でした。



50年以上続く『びわ湖クリーンキャンペーン』のキャッチフレーズは「みんなで守ろう!!かがかやくびわ湖」です。今回の対話を通じ、活動の思いが子どもたちへ、そして次の世代へと広がっていく大切さを改めて感じました。これからも美しい琵琶湖を守る取り組みを続けてまいります。

2026年度の『びわ湖クリーンキャンペーン』は、9月27日（日）を軸に県内各地区で実施予定です。詳細は決まり次第お知らせします。ぜひご家族・地域のみなさまのご参加をお待ちしています。



TOPIC 1 近畿労働金庫滋賀地区本部

第3回滋賀地区推進会議を開催～2026年度営業活動計画と「推しのNPOプロジェクト」の継続取組みを確認～

2026年2月16日（月）、ホテルニューオウミにおいて、22名の出席のもと第3回滋賀地区推進会議を開催いたしました。



会議では、「総会第2号議案の会員討議資料について」の説明と「2025年度12月末営業報告と2026年度の営業活動計画について」の報告を行いました。2026年度は第9次中期経営計画の最終年度として、3カ年のテーマである「『会員との深いつながり』を何よりも大切にし、「誰もがアクセスできる金融」をめざして挑戦します。」の総仕上げに向け当金庫を取り巻く環境と2025年度の成果・課題を踏まえて策定した「2026年度事業計画」の施策を着実に実践していきます。

また、『生活応援運動2026』では会員推進機構とともに金融教育の取組みを強化する中で「きっかけ・気づき」から「相談」に、そして「安心・笑顔」につながる行動を目指します。

併せて、会員推進機構と連携し、ろうきん運動の仕組み化に取組むことでろうきん運動の活性化や地域社会への寄与を図り「推しのNPOプロジェクト」の継続的な取組みを展開することをご確認いただきました。

TOPIC 2 こくみん共済coop（全労済）滋賀推進本部
2025年度「書記・担当者研修会」を開催しました

2025年12月3日（水）にホテルポストプラザ草津にて2025年度「書記・担当者研修会」を開催し、滋賀県内の48団体、延べ62名の方に参加いただきました。

午前中の研修では、『共済推進を通じた「組合員の幸せ実現」に向けて』と題し、労働組合での取組事例を共有したうえで、自職場の課題や活用方法についてグループごとに話し合い、発表いただきました。

そして、午後からは株式会社フラップゼロアルファより松田哲氏をお招きし「切迫する巨大災害への備えと意識改革」という内容で講演いただきました。



研修後のアンケートでは「普段からの備えだけでなく、どのように対処をすればよいか知識を持っておくことの重要性を認識しました」「動画ありクイズありの参加型研修で、最後まで飽きることなく楽しく受講できました」等の感想をいただき、概ね好評でした。

この「書記・担当者研修会」は、こくみん共済coop 滋賀推進本部の2025年度活動計画にもとづき開催する研修会であり、今後も組合員の皆さんの「くらしの安心」をサポートすることに少しでもお役に立てることを目指して企画していきますので、引き続きのご理解・ご協力をお願いいたします。

TOPIC 3 滋賀県勤労者住宅生活協同組合
滋賀県児童福祉入所施設協議会への支援について

滋賀県住宅生協は、日頃よりご支援、ご協力をいただいております関連業者の方々や労働組合の方々、約150名の参加のもと、「レインボーフェスティバルチャリティーコンペ」を2025年11月11日（火）に開催し、お寄せいただいたチャリティー金を滋賀県児童福祉入所施設協議会に寄付いたしました。この寄付金は、18歳で施設を退所し、ひとり立ちする際の支度金に活用頂いております。施設では昨今、高校生年代からの新規入所が目立つようになり、様々な理由で家庭を離れる事になった理由をご自身で整理する間もなく進学や就職の準備を始められ、その多くの子どものたちが経済的な課題を残して退所されているようです。



【児童養護施設・鹿深の家にて】

贈呈は、「児童養護施設・鹿深の家」へお伺いし春田会長と2年前に施設を退所された井上さんに温かく出迎えていただきました。彼らの未来を少しでも支える応援活動を今後も続けて参りたいと考えています。

フードバンクの取組について

食糧支援を必要とする家庭や福祉施設への支援と食品ロス削減の観点から、役職員と関係団体へ食品・食材提供の協力を呼びかけにより集まりました品々をフードバンクしが、フードバンクびわ湖へ、それぞれ提供を行うことが出来ました。

TOPIC 4 滋賀県生活協同組合連合
～2025年度都道府県協同組合連携組織全国交流会議に参加～



【JCA 比嘉専務あいさつ】

2026年2月6日（金）に2025年国際協同組合年の年に全国各地で取り組まれた連携事例について、学び合いと連携組織間の情報交換・交流を目的に、オンラインによる全国交流会議が開催されました。

滋賀県からは、IYC 記念滋賀県協同組合協議会を代表し滋賀県生協連が「地域共生に向けた基調講演」とパルディスカッション及びピースコンサートについて報告しました。

交流会では福島県、熊本県、静岡県、高知県の取り組み事例を共有し、改めて協同組合の「つながること」「たすけあうこと」の価値を基本に地域社会への貢献や役立ちの事例を学び合い、2026年度の滋賀県内での活動につながる場となりました。



【コーディネーター 法政大学伊丹謙太郎氏】

TOPIC 4 中部労福協第48回定期総会が開催されました



2026年2月25日(水)15時より、「ボルファートとやま(富山県富山市)」にて、労働者福祉中部協議会(略称:中部労福協)の第48回定期総会が開催されました。

中部労福協は、近畿2府4県、東海3県、北陸3県の各府県労福協で構成され、単協間の情報交換や共通課題の協議を通じて、それぞれの労福協活動の活性化を図っている組織です。主な活動として、総会・幹事会などの機関会議のほか、中部労福協主催の研究集会、理念・歴史リーダー養成講座、役職員研修などを実施しています。

第48回定期総会では、来賓として中央労福協の佐保昌一事務局長、富山県労福協の浜守秀樹会長、富山県商工観光労働部の山室芳剛部長よりご挨拶をいただきました。

続く議案審議では、2025年度活動経過報告・決算および監査報告、2026～2027年度活動方針案・予算案が審議され、いずれも満場一致で可決されました。あわせて、2026年度理念・歴史リーダー養成講座(2028年2月4日・5日開催予定)を滋賀県で実施することも確認されました。

その後の役員改選では、会長・事務局長組織が奈良県労福協から石川県労福協へと引き継がれました。新会長に選出された小泉康史会長(石川県労福協会長)からは、「これまで培ってきた中部労福協の活動を大切にしながら、各府県労福協の活性化につながるよう努めていきたい」との挨拶がありました。

滋賀県労福協からは、山本俊夫専務理事が中部労福協監事に就任しました。今後も中部労福協の一員として役割と責任を果たしてまいりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

TOPIC 5 滋賀県労働福祉事業団体OB会「あしたば会」2025年度研修・交流会が開催されました

2026年2月10日(火)、前日までの大雪から一転、穏やかな天候の中、2025年度あしたば会研修・交流会が開催されました。

本年度の研修は、滋賀県労福協が実施する「健康」をテーマにした生活応援セミナーへの参画です。3回目となる最終回では、事業団体の一つである「こくみん共済coop 滋賀推進本部」所属の宮野氏より、生活保障をテーマにした講演が行われました。



あしたば会は、事業団体の枠を超え、統一OB会結成の機運が高まる中で誕生した団体です。現在、事業団体で活躍する現役世代と、長年にわたり組織を支えてこられた先輩世代が同じ場で学び合えることは、双方にとって貴重で意味のある時間となりました。経験や視点の異なる世代が交流することで、活動への理解が深まり、次の世代へと自然に思いが受け継がれていきます。

研修会終了後は、瀬田川のすぐそばにある、湖国の地元食材を活かした「新近江別館」にて交流会を開催しました。会員同士、また参加した現役の事業団体役員との間でも親睦が深まり、有意義なひとときとなりました。これからも「あしたば会」の先輩の皆さまと、世代を超えたつながりを大切にしながら、学びと交流の機会を広げてまいります。

TOPIC 6 第97回滋賀県労働者統一メーデーを開催します!

第97回滋賀県労働者統一メーデーは、2026年4月25日(土)に開催することが決定しました。

本年度のスローガンは「対話と連帯で築く、平和で笑顔あふれる未来 真の働き方改革で、安心してらせる社会を!」とし、中央集会会場の「栗東芸術文化会館さくら」に加え、別表記載の3会場の計4会場にて実施します。今年の基本方針は、次の4つです。

- 【基本方針】**
- 労働者の地位や労働条件の向上、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求に貢献する。
 - 働く仲間の結集するメーデーの持つ訴求力を活かし、「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の継承・深化に向け、社会的うねりを呼び起こす運動を展開する。
 - 積極的に家族の参加を呼びかけるとともに、労働者福祉事業団体やNGO・NPOをはじめとする諸団体との連携を強化し社会全体ですべての人が支え合い共生できる仕組みを構築する重要な契機とする。
 - 被災地の復旧・復興支援への継続・強化など、「誰一人取り残されることのない」社会の実現に向け、SDGs(持続可能な開発目標)の達成をめざす。

メーデーは、1886年のアメリカ・シカゴでの労働者の8時間労働要求運動を起源とし、働く人々が連帯し、より良い労働と生活を求めて声を上げる国際的な行動日です。今日では、働く仲間が集い、社会の課題を共有し、未来とともに考える場として続いています。

各会場では式典の後もさまざまなイベントを予定しております。春の一日、ぜひお問い合わせのうえ、お近くの会場へ起こしてください。

第97回滋賀県労働者統一メーデー実施一覧

地域	協区名	日時	場所
第1区地協	大津・高島	4月25日(土) 9:30~12:00	膳所城跡公園
第2区地協	湖北・彦根	4月25日(土) 9:30~12:00	米原学びあいステーション
【中央集会】第3区地協	草津栗東・守山野洲	4月25日(土) 11:00~13:30	栗東芸術文化会館さくらシンボル広場
第4区地協	湖南甲賀・近江八幡・東近江	4月25日(土) 10:00~13:00	近江八幡市文化会館

TOPIC 7 滋賀県勤労者美術展

「第71回滋賀県勤労美術展」を開催します!~誰もが参加できる、開かれた美術展を目指して~

2026年度、第71回を迎える「滋賀県勤労者美術展」は、今回より新たな趣旨のもと開催します。これまで勤労者の皆さまの創作発表の場として親しまれてきましたが、今後は文化芸術を通じて地域とつながり、世代を越えた交流や学びが生まれる、より開かれた美術展へと発展させていきます。そのため、第71回から応募資格を「年齢不問」とし、学生からご高齢の方まで、どなたでも気軽に参加できるようにしました。日々の経験や感性を自由に表現していただける機会として、多くの皆さまの作品をお待ちしています。また、展示会場もこれまでの美術館から、より身近に立ち寄れる場所へと変更し、お買い物やお出かけの際にも気軽にご覧いただける内容としました。

長く本展を支えてくださった出展者の皆さま、そして今回新たに応募をご検討くださる皆さまが、作品を通じて交流を深めていただければ幸いです。第71回滋賀県勤労者美術展が、地域の皆さんと会員団体がともに文化を楽しみ、育んでいく機会となることを願っています。開催日程は下記をご参照ください。応募の詳細は、滋賀県労福協ホームページ掲載の「応募要項」をご確認ください。

「第71回滋賀県勤労者美術展」(書道・写真・絵画・工芸手芸の4部門)

1. 開催期間および開催場所

(1) 美術展

①開催期間 2026年7月23日(木)~7月25日(土):10時00分~17時00分

2026年7月26日(日):10時00分~13時00分

②開催場所 ショッピングセンターエイスクエア内「A PLACE」

(〒525-0025 滋賀県草津市西沢川1-23-1 SARA 東館2F)

③作品展示 展示作品は、入賞作品のみとします

(2) 審査会

非公開にて実施

(3) 表彰式・作品講評

①開催日時 2026年7月26日(日)14時30分~16時30分

②開催場所 ショッピングセンターエイスクエア内「A PLACE」

③次 第 1部:【表彰式】賞状・副賞授与(特選8本(県知事賞、労福協会長賞)・優秀賞15本程度・審査員特別賞10本程度)

2部:【作品講評】各部門審査員より出品作品について講評

2. 応募資格および応募期間

(1) 応募資格 滋賀県内に在住または通勤・通学している方、していた方、およびそのご家族(年齢不問)

※その他、応募条件・作品規格を十分ご確認のうえ、応募ください

(2) 事前受付 受付期間:2026年6月5日(金)9:00~2026年6月15日(月)17:00まで

(一社)滋賀県労働者福祉協議会ホームページに掲載する所定の応募フォームにて、事前受付を行ってください。

※指定の期間内に事前受付を済ませておられない場合は、審査対象外となります

3. 作品の受付と返却について

(1) 作品受付

作品は、以下記載の受付期間に指定の場所へ持参ください。持ち込みが困難な場合は、配達日時を指定(各部門受付最終日を除く(午前中)を指定)し郵送してください。返却を郵送で希望する場合は、梱包資材と着払い伝票を併せて出品してください。

①受付日時 書道の部:2026年6月17日(水)・2026年6月18日(木)いずれも9:30~16:30

写真の部・絵画の部・工芸手芸の部:

2026年6月26日(金)・2026年6月29日(月)・2026年6月30日(火)いずれも9:30~16:30

②受付場所 (一社)滋賀県労働者福祉協議会(〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 6階)

(2) 作品返却

作品は、審査終了後返却しますので、以下指定期間内に指定場所での引取りをお願いします。なお、引取りが困難で、郵送での返却を希望される場合は、作品出品時に梱包資材と着払い伝票を添えて出品してください。

書道の部の入賞作品については、指定の表具専門店へ主催者にて作品をお預けします。書道の部以外入賞作品は、展示期間まで主催者にて保管いたします。ご希望により、指定期間内に引取り後、展示会場へ指定の日時に搬入いただくことも可能です。

①返却日時 書道の部:2026年6月24日(水)・2026年6月25日(木)いずれも9:30~16:30

写真の部・絵画の部・工芸手芸の部:

2026年7月10日(金)・2026年7月13日(月)・2026年7月14日(火)いずれも9:30~16:30

②返却場所 (一社)滋賀県労働者福祉協議会(〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 6階)

③ 書道の部

指定の表具専門店

昇天堂様 〒520-1121 滋賀県高島市勝野574 TEL(0740)36-0620

泉屋産業(株)様 〒527-0029 滋賀県東近江市八日市町10-18 TEL(0748)24-2289

(3) 注意事項

①出品および引取りにかかる費用はすべて出品者にてご負担ください

②作品移動時や作品郵送時に生じた不可抗力による破損等について、主催者は一切責任を負いませんので、ご承知おきください。



【滋賀県労福協 公式ホームページ】

第71回滋賀県勤労者美術展ご出展の流れ



滋賀県労福協 第70回(第18期)定期総会

開催日時:2026年5月25日(月)
14:30開会(14:00より受付)
開催場所:コラボしが21 3階「大会議室」

春春の全国交通安全運動

実施期間 令和8年4月6日(月)～4月15日(水)
(運動の重点)
①通学路・生活道路における子どもを始めとする歩行者の安全確保
②「ながらスマホ」の根絶や歩行者優先等の安全意識の向上
③自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルール理解・遵守の徹底
④横断歩道利用者ファースト運動の推進(滋賀県重点)
交通事故のない安全・安心な滋賀を目指しましょう!

「はたらきんを金力応援」
近畿ろうきん
いつでもどこでも
残高や入出金をスマホでチェック!
ろうきんアプリ
まずは、はじめてみませんか!
詳しくはこちら!
最新のキャンペーン情報などをお届けします。
プッシュ通知の設定がオンになっているかご確認ください。

こくみん共済 NEWS 2525W007
たすけあいの輪をむすぶ
公式キャラクター ビットくん
こくみん共済〈全労済〉
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

滋賀推進本部
(滋賀県勤労者共済生活協同組合)
● 共済ショップ草津駅前店
● 共済ショップ彦根店



滋賀県住宅生協は
土地・建物に関する
あらゆるご相談を
お受けしています。
お気軽に
お問合せください。

滋賀県住宅生協 077-524-2800
営業時間 9:00～18:00 定休日 火・水・祝日

まなびあい・つながりあい・つたえあい、びわ湖をたいせつにして
協同の力で未来をつむぐ 誰かが平和で安心してくらせる社会の実現をめざします。

滋賀県生活協同組合連合会

- ◆生活協同組合コープしが
- ◆生活クラブ生活協同組合
- ◆グリーンコープしがまる生活協同組合
- ◆滋賀県勤労者共済生活協同組合
- ◆滋賀大学生生活協同組合
- ◆滋賀県立大学生生活協同組合
- ◆滋賀医科大学生活協同組合
- ◆しが健康医療生活協同組合
- ◆滋賀県職員生活協同組合
- ◆滋賀県勤労者住宅生活協同組合
- ◆生活協同組合コープ自然派京都
- ◆立命館生活協同組合
- ◆龍谷大学生生活協同組合
- ◆ワーカーズコープセンター事業団滋賀事業本部